

大柳生の宮座行事

場所：奈良市大柳生町 夜支布山口神社

日程：10月18日直前の日曜

夜支布山口神社では十五歳以上の男性による祭祀組織である宮座があり、上位二十人は二十人衆とよばれ、毎年交代で当屋をつとめる。当屋は、衣装や烏帽子、笛が入った「廻り明神」と呼ばれる黒箱を1年間自宅で預かり、屋形の中に安置する。二十人衆以外からは入衆8人が座入り順で選ばれる。素襖、烏帽子、鼻木とよばれる被り物をつけた入衆のうち、一番目が小鼓、二～四番目が小太鼓、五～八番目がガチャガチャ（編木）を鳴らし、秋祭りに当屋・相当屋の指揮のもと本社（山口神社）と摂社の立盤神社、御旅所でガクウチを奉納する。ガクウチは、「田の草取り」とよばれ、水田の草を取る所作を模しているというが、本来は田楽芸を模したものであると考えられている。〔撮影 野本暉房〕

